

## 教育カリキュラム

コース名	社員教育「生産管理体験道場」 半日(4時間)×6回コース					
対象者	生産管理業務に関する知識の浅い方					
ねらい	生産管理システムに関わるエンジニアに、工場の実情を体験いただき、製造業のお客様とのコミュニケーションをスムーズに行えるように、提案時などにお客様目線に立てるようになること					
実施概要	4～5名で1工場を編成し、その工場において紙の腕時計(4製品)を作ります。この工場は資本金50万で設立し、運営においてはお金のやり取りも含む「工場版マネージメントゲーム」です。この模擬工場で生産活動を体験後に、その工場に対する改善提案やシステム化提案を実習します。また、その工場における(簡易)損益計算や(簡易)原価計算を、手作業で実習します。					
講師	清水秀樹	参加人数	4～10名	作業場所	貴社ご指定の場所	
テキスト	①基礎から学ぶ生産管理システム 著者:清水秀樹(日経BP) ②専用テキスト		特記事項	*参加人数は10名以上の場合は時間半分は変わります。 *下記所要時間は大よその時間です(上限は4時間/日)		
回数	テーマ	内容			所要時間	実施日
1回目	紙の腕時計工場の運営を体験する	4～5名で1つの工場を編成し、「紙の腕時計工場」の運営(発注。物づくり・支払・請求など)を体験する			4.0 時間	未定
		形式	内容		所要時間	
		ガイダンス	体験道場の主旨や紙時計工場の運営方法などについてのルール説明		30 分	
		グループ実習	工場設立(設備購入)、試作部品購入、試作、部品調達などを体験する		60 分	
		グループ実習	工場運営(部品調達・製造・出荷・支払・請求など)を体験する		60 分	
		グループ実習	工程フローおよび部品表をチームごとに作成すると同時に、問題点を洗い出す。		60 分	
		発表・講評	作成した工程フローおよび部品表、問題点をチームごとに発表		30 分	
		宿題	用語の整理		-	
2回目	工場損益および原価計算の体験する	紙時計工場における工場損益および原価計算を体験する			4.0 時間	未定
		形式	内容		所要時間	
		グループ実習	紙時計工場の運営結果の伝票整理、帳簿付けする		60 分	
		グループ実習	紙時計工場の損益計算書を手作業で作成する		60 分	
		グループ実習	損益計算結果を元に紙時計工場の製品別原価を手作業で計算する。		30 分	
		グループ実習	損益計算および原価計算結果を元に問題点を洗い出し、課題定義書を作成する		60 分	
		発表・講義	実習結果を各チームごとに発表。その発表を受けて講義		30 分	
		宿題	損益計算書が未完了の場合は宿題		-	
3回目	現場改善を体験する	紙時計工場における製造・在庫業務についての改善を体験する			4.0 時間	未定
		形式	内容		所要時間	
		グループ実習	紙の腕時計工場の抱える課題から製造現場に関するものを抽出し課題定義書を作成		45 分	
		グループ実習	製造作業改善タイム		60 分	
		グループ実習	改善効果を把握するために、改善案に従い工場運営を体験する		60 分	
		グループ実習	改善内容・改善効果などを改善報告書を作成する		45 分	
		発表・講評	改善結果を発表する		30 分	
		宿題	当事例を元に「現場改善提案書」を作成		-	

回数	テーマ	内容		所要時間	実施日
4回目	業務改善を体験する	紙時計工場における生産計画・調達・出荷業務の改善を体験する		4.0 時間	未定
		形式	内容	所要時間	
		グループ実習	紙の腕時計工場の抱える課題から管理業務に関するものを抽出し課題定義書を作成	45 分	
		グループ実習	業務改善タイム	60 分	
		グループ実習	改善効果を把握するために、改善案に従い工場運営を体験する	60 分	
		グループ実習	改善内容・改善効果などを改善報告書を作成する	45 分	
		発表・講評	改善結果を発表する	30 分	
宿題	当事例を元に「業務改善提案書」を作成	-			
5回目	システム化提案体験(1回目) 提案準備として改善後の損益や原価計算、業容拡大時の課題等の検討	現場改善や業務改善の済んだ紙時計工場における工場損益および原価計算を体験する		4.0 時間	未定
		形式	内容	所要時間	
		グループ実習	現場改善後の紙時計工場の損益計算お原価計算する。	60 分	
		グループ実習	業務改善後の紙時計工場の損益計算お原価計算する。	60 分	
		グループ実習	改善前、現場改善後、業務改善後の損益および原価計算結果の比較と考察	60 分	
		グループ実習	この工場が規模拡大した際の課題と対応方針などを検討する(システム化提案の)	30 分	
		発表・講義	実習結果を各チームごとに発表。その発表を受けて講義	30 分	
宿題	規模拡大した際の課題と対応方針	-			
6回目	システム化提案体験(2回目) 業容拡大に伴うシステム化提案を体験する	紙の腕時計工場の規模拡大に対応するためのシステム化提案を体験する		4.0 時間	未定
		形式	内容	所要時間	
		グループ実習	提案骨子を検討する	60 分	
		グループ実習	提案書を作成する	120 分	
		発表・講評	提案書を発表する	60 分	
宿題	アンケート記入	-			
【成果物】	当体験道場を受講いただいた結果を成績書としてご提出いたします。 成績書のご提出は、上記の講座がすべて完了後から1週間後となります。				
【特記事項】	※実施にあたってご準備頂きたい物品は下記の通りです				
会場	会場は4～5人を1チームとしてチーム作業ができるように一般的な会議室にあるテーブル2台必要です。 参加者は8名(最大10名)を前提に2台×2を配置できる広さの会議室の確保をお願いします。				
物品	物品名	数量	※1:体験学習で使用する伝票およびテキストを弊社で準備いたします。 ※2:教育で使用する部品などの印刷は別途お願いする場合があります。		
	プロジェクター	1 台			
	ホワイトボード	1 台			
	ホワイトボード用のペン	任意			
	ゴミ箱	2 個			
	はさみ	6 本			
	ホッチキス	3 個			
	ホッチキス針	任意			
	のり	3 本			
	ボールペン	各自			
電卓	各自				